

2017年学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル・イン・菅平

大会実施要項

1. 名称 2017年学生クラブ東西交流ラグビーフェスティバル・イン・菅平
2. 主催 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
3. 主管 関東ラグビーフットボール協会、長野県ラグビーフットボール協会
4. 後援 上田市、菅平高原観光協会
5. 日程 2017年9月1日(金)～9月3日(日)
6. 会場 菅平高原／サニアパーク他

7. 参加資格

- (1) 2017年4月1日付で、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会管下・各都道府県ラグビーフットボール協会に「チーム登録」された学生クラブ、及び大会実行委員会が認めた大学ラグビー部とする。合同チームでの参加、及び1チームで複数出場することを認める。

8. 選手資格

- (1) 本大会の選手資格は、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の「日本協会規程」及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
- (2) 選手は、満18歳以上の者とし、高等学校(定時制を含む)在学中の者の参加は認めない。
- (3) 試合出場は2017年8月31日までに、「競技者個人登録」を完了した者に限る。
- (4) 財団法人スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。
- (5) 本大会に限り合同チームによる出場を認める。他のチームで選手登録された者を自チームで出場させることができる。その場合、登録用紙のJRFU個人ID欄に他チーム名を表記すること。
- (6) その他、選手資格に疑義がある場合には、大会実行委員会に於いて裁定する。

9. 競技規則

- (1) WR(ワールドラグビー)制定の「競技規則」による。
- (2) 試合時間は、25分ハーフとする。(2日連続の試合のため)
- (3) 競技方法は、原則として4チームずつのトーナメント方式(参加チーム数により変更の可能性有り)とし、表と裏を実施する。組み合わせは、過去の実績、地域性などを考慮して、大会実行委員会で指定する。

10. 罰則

- (1) 参加資格を偽った場合、選手資格のない者が出場した場合には、そのチームを失格とする。
- (2) その他、スポーツマンシップに反する行為のあった場合にも前項に準ずる。
- (3) 参加チームは、その応援団、OB、観戦者等の行為についても責任を負うものとする。

- (4) 本大会で生じた不規律に関しては、選手ないしチームに告知聴聞の機会を与えた上で、大会規律委員会に於いて処分を決定する。

11. 試合方法

- (1) 交流試合は、各チーム15人で行う。
- (2) 本大会に限り選手の交代・入れ替えは、負傷に起因する場合の他は、ハーフタイムに於いて行う。その場合、競技委員に告知し、必ずレフリーの許可を得て入退場を行う。
- (3) 有資格のセーフティーアシスタントを準備すること。セーフティーアシスタントは、必ず「認定証」を持参し、ビブスを着用する。
- (4) クラブ常同レフリー候補者または TJ 講習会受講者を用意し、その者がタッチ・ジャッジを務める。(必ずタッチフラッグを使用すること。タオル等は不可。)

12. 競技中の注意

- (1) ハーフタイム時の選手の休息は、5メートルラインの内側で行う。
- (2) ハーフタイム時、グラウンドへ入ることができるのは、監督またはコーチ1名の他、水係とセーフティーアシスタント(各チーム4名以内)のみとする。
- (3) 試合中の給水は、水係りによりレフリーが試合を止めた場合(ウォーターブレイク・負傷確認等)またはトライ後に行なうか、それ以外は選手がタッチサイドに来て給水を行う。(PK の場合はなし)
- (4) シンピンを受けた選手は、ハーフウェイライン付近の所定の場所で待機しなければならない。(監督・コーチ・他選手との接触不可/退場時間は5分間)
- (5) ゲーム中、チーム関係者は所定の場所に座って観戦する。タッチサイドを移動したり、指示の声を出したり応援などしないこと。ラグビーはキャプテンシーのスポーツである。

13. 選手の服装

- (1) ジャージ、パンツ、ソックスは、チーム全員統一すること。(合同チーム等実行委員会許可の場合は除く)
- (2) 服装規定(サポーター、スパッツ等)を遵守すること。
レフリーのドレスチェック後に、不許可のものを身につけて試合に出場した選手は、正規の服装に戻ってから出場すること。
- (3) 選手は、原則マウスガード装用の努力を行う。
- (4) ジャージ等に血液が付着した場合は、直ちに置き換えること。
- (5) ヘッドギア、ショルダーパットは、IRB認定マークが付いたものを使用すること。
- (6) アンダーパンツ、サポーター類は黒・紺・白のいずれかの色のみの着用とする。
- (7) アンダーシャツは、ジャージと同系色か黒または紺色のものに限る。色は単色とし、柄及びマークなど(メーカーロゴを含む)のないもの。
- (8) スパイクのスタッドに関しては、固定式のスタッド(一体形成型ゴム底のもの)であれば、鋭い形

状の部分か鋭く隆起している部分がない限り、イボ状またはブレードタイプのスパイクの着用を認める。但し、取り外し式スタッドの場合には、ブレードタイプの着用は認めない。

(9) 服装に関する疑義が生じた場合は、大会実行委員会にて対応を判断する。

(10) 選手は以下の着こなしを遵守するよう心掛ける。

- ・ ソックスはきちんと上げる。試合中ずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
- ・ パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
- ・ ジャージのエリを内側へおり込まない。ラグビーはエリのあるスポーツである。
- ・ ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。

14. 安全対策について

(1) 大会参加にあたっては、チーム責任者は予め参加選手の健康管理には充分配慮すること。

(2) 試合中に明らかな頭部打撲を認め、「脳しんとう」の症状に該当する選手は、レフリーの判断により退場となる。

(3) セカンド・インパクト(過去の頭部打撲が後日発症)による重症事故の事例が報告されている。各チームは「安全」が第一の優先順位であることを銘記すること。

(4) 試合中に脳しんとうで退場した選手の出たチーム責任者は、所定の用紙によって所属協会に必ず報告を行うこと。また、本大会にて発症の場合は、3週間の安静後医師の診断により練習への復帰(1週間程度)後、再度医師の診断により試合への復帰が許可される。(復帰の手順・提出書面については協会 HP にて確認すること)

(5) 健康保険証(コピー)を必ず持参し、チーム代表者が必ず管理すること。

(6) チーム代表者は、チーム内参加者全員の緊急連絡先を予め把握しておくこと。

(7) スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」、及び、ラグビー協会の「競技者個人登録(=登録者傷害見舞金制度)」への加入に遺漏なきよう再度確認すること。

(8) グランド及びその周辺においては、選手、OB、観戦者等を含めて禁煙とする。特に、ジャージ姿のままでの喫煙には注意すること。